# 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

### 1. 基本情報

1. 本个情報				_				
■事業の担当課	生活環境部環	生活環境部環境政策課 ■担当係 ごみ減量係						
■評価事業名称	環境美化推進	環境美化推進事業						
■事業開始年度								
■評価事業コード	030200 - 3	302	■会計区分	一般会	計			
	■政策	04 美しし	∿環境と心を守り	/育てる	まちつ	づくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	02 資源	盾環型社会の飛	<b>彡成</b>				
	■施策	■施策 01 ごみの不適正排出、不法投棄の防止						
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		ı	■政領	策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定	きめのないも	の					
■法令等の名称								
■関連計画の名称								
■事 業 の	ごみが無いきれいで清潔な街づくり。・市衛連が中心となり不法投棄パトロールを実施し、不法投棄がある場合には収集及び清掃を行う。・市民対して不法投棄防止の看板等を配布し、きれいな街づくりの推進を図る。							

### 2. 細事業の活動実績情報

細事	業 細事業 ド 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	環境美化推 進事業	市民	動物死骸回収業務 226件(小動物220件、大型動物6件)不法投棄防止看板配布 100枚	動物死骸回収業務 229件(小動物224件、大型動物5件)不法投棄防止看板 件、大型動物5件)不法投棄防止看板 配布 156枚(ポイ捨て看板51枚、罰金 看板105枚)
02	公衆衛生指 導員設置	公衆衛生指導員	春・秋清掃活動、不法投棄監視パトロール51回予定、北上市クリーン活動	125行政区ごとに公衆衛生指導員を委嘱(任期2年、報酬50千円)、春・秋清掃活動 延べ参加者22,127人、不法投棄 監視パトロール43回(収集3,577kg)、北上市クリーン活動未実施

### 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	8,407	8,280	8,134	8,992	
人 件 費	3,358	3,381	2,668	1,192	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,765	11,661	10,802	10,184	

### 4. 評価指標等の状況

指コ-	標指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	地域不法投棄パトロール回数	48回	51回	46回	43回	各地区の不法投棄パトロール・清掃活動を地区の指導
						員・役員が中心となって行った。

1/2

# 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

02	清掃活動参加者数	24,804人	22,773人	26,091人	22,127人	春、秋の地域清掃参加人数
03	不法投棄量	2.93t	4.31t	4.16t	3.58t	不法投棄回収量

5. 事後評価(「政策」事業類	型5-6のみ)					
■目標達成状況		帚は、毎年2万人? なまちづくりに寄		高齢化や人口減少考えられる。陸上だよう、市民の環境意	度比約4,000人減少していかのほか、新型コロナの影から海洋へごみを流入さき のほかに高揚させ、不 の組の継続・強化が必要	響が せない 法投
. 直接的な受益者の範囲 ――――		・民間との競合関	係の有無 ――			
● 不特定多数に及ぶ	~	の事業はない	** ^ / 1 4 . / .			
<ul><li>○ 特定されるが多数に及ぶ</li><li>○ 特定少数に限定される</li></ul>		【の事業はあるが 【の事業があり競行				
<ul> <li>事業廃止の影響・貢献度</li> <li>事業の廃止により重大な問題が発する</li> <li>事業の廃止により何らかの問題が生する</li> <li>事業の廃止による問題は想定され</li> </ul>	生 ● 市民 市民 市民 市民 市民	生活・企業活動の生活・企業活動の 生活・企業活動のしている 生活・企業活動の	維持に不可欠 )維持に一定程度	<ul><li>● 1. で選択</li><li>○ 1. で選択</li></ul>	の影響を受ける受益者の 沢した人の大多数(70%程 沢した人の半分程度(50%) 沢した人の少数(30%程度)	度) 程度)
		・ の改善需要度(†		]└──── ── <sub>─</sub> ─8. 施策の優	先度(市民意識調査) -	
○ ニーズが高まっている		立が高い			高い	
<ul><li>○ ニーズは変わらない</li></ul>		立が中程度		○順位が呼		
○ ○ ニーズが低下している又は合致し <sup>ォ</sup>	ない	立が低い		● 順位が何	氏い	
9. 他市町村に比較しての優位性	'l  10. 実施	主体の代替性 一		──	率性の向上 ――――	
○ 先進的またはユニークな事業であ	る 📗 🕞 民間	委託等の拡充は	難しい	⑥ 今以上の3	効率化や改善は難しい	
◉ 他と同程度の事業である	○ 民間	委託等の拡充が	十分に可能	○ 効率化や	改善を図ることは十分にす	可能
○ 遅れている事業である	○ 全部	委託や実施主体	の移行が可能	○ 効率化やi	改善の余地が大きい	
■事業の見直し方策(評価項目2,4のネ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		┌■今後の方向	性 ————————————————————————————————————		
			○ I. 拡充 ③ II. 継続 ○ II. 縮小	0	. 廃止·休止 . 完了	

2/2

# 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

# 1. 基本情報

11 GENT HE TIK								
■事業の担当課	生活環境部環	生活環境部環境政策課       ■担当係  ごみ減量係						
■評価事業名称	北上市公衆衛	北上市公衆衛生組合連合会補助金(事務局業務含む)						
■事業開始年度								
■評価事業コード	030200 - 3	304	■会計区分	一般会計				
	■政策	04 美しい	、環境と心を守り	り育てるまち	づくり			
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	02 資源很	盾環型社会の飛	<b></b> / 成				
	■施策	01 ごみの不適正排出、不法投棄の防止						
■事業の類型	06 負担金・	補助金(任意	意・ソフト事業)	■政	策•業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定	どめのないもの	の	•				
■法令等の名称								
■関連計画の名称								
■事 業 の	ごみの不法投 境美化を図る 交付	t棄対策と防。125地区公	止、ごみの分別 衆衛生組合が	徹底指導、  公衆衛生活動	Jサイクルの推 動を実施するに	進・指導で地域の環ニあたり活動費として		

### 2. 細事業の活動実績情報

細事		事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	北上市公衆 衛生組合連 合会事業 補助金	連合会	会議・定期総会1回、理事会8回、連合会研修会、理事研修会、公衆衛生組合長研修会、先見資源回収事業記明会、 表研修会、集月資源回収事業記明法活動、不法投棄監視カメラ購入、不法投棄監視カメラ購入、不法投棄監視パトロール事業市内17地区で各3回、マイバッグキャンペーン、市衛連だより発行、ごみ集積所整備事業、集便資源回収補助金交付、生ごみ処理機購入助成、市衛連会長表彰	会議・定期総会1回(書面決議)、理事会6回、連合会研修会・理事研修会未実施、集団資源回収事業説明会(資料送付)、春・秋清掃月間、北上市クリーン活動未実施、不法投棄監視カメラ購入2台、不法投棄監視パトロール事業市内17地区で各3回、市衛連だより未発行、ごみ集積所整備事業、集団資源回収補助金交付、生ごみ処理機購入助成、市衛連会長表彰
02	ごみ集積所整 備費補助金	地区	補助金交付予定額:1,302,000円(新設・改修32基×38,500円、被覆ネット25枚×2,800円)	補助金交付額:1,302,000円(新設24基 1,151,900円、改修5基137,000円、被覆 ネット2枚6,851円、事務費15,400円)

### 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	9,785	10,111	9,771	9,902	
人 件 費	5,952	6,840	5,260	5,066	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	15,737	16,951	15,031	14,968	

### 4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

指 コー	標指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	ごみの減量化・資源化の推進 (リサイクル率)	0.183	0.181	0.173	0.161	ごみ総量に対する資源ごみ の量
02	衛生パトロール	48回	51回	46回	43回	地区で年3回程度のパトロール実施。
03	ごみ処理量	25,565t	25,682t	26,007t	25,817t	

	達成物	犬況の分析		問題点•課題等
一■目標達成状況 ————		と棄対策として、不法投棄ノ まか、不法投棄が多い地域		依然として不適正排出が見られる。外国人を めた新住民のごみ出しが不適正である傾向で
○ A. 順調	の設置	置をした。不法投棄パトロー けの影響により前年度をT	ルの回数は、新	るため、アプリの活用やごみ情報の翻訳言語拡大等対策が必要。
● B. 概ね順調		から3.58t(前年度比▲16.99		が入寺対東が必安。
│ ○ C. 遅れている │				
. 直接的な受益者の範囲		2. 国・県・民間との競合	関係の有無 ――	
○ 不特定多数に及ぶ		● 類似の事業はない		
◉ 特定されるが多数に及ぶ		○ 類似の事業はあるが	が競合はない	
○ 特定少数に限定される		○ 類似の事業があり意	<b>合する</b>	
3. 事業廃止の影響・貢献度		·4. 市民生活·企業活動。	への貢献度 -	
○ 事業の廃止により重大な問題が する	発生	○ 市民生活·企業活動	の維持に不可欠	○ 1. で選択した人の大多数(70%程度
<ul><li>事業の廃止により何らかの問題が 生する</li></ul>	が発	<ul><li>● 市民生活・企業活動 貢献している</li></ul>	の維持に一定程度	·
- 生9 a ○ 事業の廃止による問題は想定さ		○ 市民生活·企業活動 は低い	の維持への貢献度	□ ○ 1. で選択した人の少数(30%程度)
5. 事業へのニーズの変化 ―――		1	市民意識調査)-	 
○ ニーズが高まっている		● 順位が高い		○ 順位が高い
◉ ニーズは変わらない		○ 順位が中程度		○ 順位が中程度
○ ニーズが低下している又は合致	ない	○ 順位が低い		● 順位が低い
). 他市町村に比較しての優位性 ―		└──10. 実施主体の代替性 · │		 11. 経済性・効率性の向上
○ 先進的またはユニークな事業で	ある	● 民間委託等の拡充(	は難しい	○ 今以上の効率化や改善は難しい
◉ 他と同程度の事業である		○ 民間委託等の拡充が	が十分に可能	● 効率化や改善を図ることは十分に可
○ 遅れている事業である		○ 全部委託や実施主体	本の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,40	補足説	明含む)	⊢■今後の方向	性 ———
			│	○ Ⅳ. 廃止・休止
			● Ⅱ. 継続	○ V. 完了
			○ Ⅲ. 縮小	$\mathbf{c}$

# 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

# 1. 基本情報

11 GENTY HE TIK				_				
■事業の担当課	生活環境部環	生活環境部環境政策課 ■担当係 ごみ減量係						
■評価事業名称	災害廃棄物処	災害廃棄物処理等計画策定事業						
■事業開始年度								
■評価事業コード	030200 - 3	338	■会計区分	一般会計				
	■政策	04 美しい	、環境と心を守り	り育てるまち	づくり			
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	02 資源征						
	■施策	01 ごみの不適正排出、不法投棄の防止						
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		■政	策•業務区分	政策		
■法令の根拠区分	(未入力)			•				
■法令等の名称								
■関連計画の名称								
■事 業 の	災害時における仮置き場の選定、避難所におけるごみやし尿の収集体制や発生量の推計など災害廃棄物処理を含め、平時からの適正なごみ処理について計画するもの。							

# 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 災害廃棄物 処理等計画 策定事業			翌年度事業の準備

#### 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				4	
人 件 費				1,937	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				1,941	

### 4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業	類型5-6	3のみ)				
	達成物	状況の分析		F	問題点·課題等	
■目標達成状況 R03事		業化された				
( B. 概ね順調						
○ C. 遅れている						
	1					
1. 直接的な受益者の範囲 ―――			竞合関	係の有無 ―		
		○ 類似の事業はな	い			
○ 特定されるが多数に及ぶ		● 類似の事業はあ	るが	競合はない		
○ 特定少数に限定される		○ 類似の事業があ	り競さ	合する		
・3. 事業廃止の影響・貢献度 ――		'	動へ	の貢献度 ―	→ 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合	
<ul><li>事業の廃止により重大な問題がする</li></ul>	・発生	● 市民生活·企業活	動の	維持に不可欠	● 1. で選択した人の大多数(70%程度)	
事業の廃止により何らかの問題 生する		○市民生活・企業活	舌動の	維持に一定程度	○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)	
<ul><li>─ 生する</li><li>○ 事業の廃止による問題は想定さ</li></ul>		責献している ○ 市民生活・企業活は低い	動の	維持への貢献度	○ 1. で選択した人の少数(30%程度)	
6. 事業へのニーズの変化			度(市	「民意識調査)——		
◉ ニーズが高まっている		◉ 順位が高い			○ 順位が高い	
○ ニーズは変わらない		○ 順位が中程度			○ 順位が中程度	
○ ニーズが低下している又は合致	えしない	○ 順位が低い			● 順位が低い	
9. 他市町村に比較しての優位性 -		· 10. 実施主体の代替	性一			
○ 先進的またはユニークな事業である		○ 民間委託等の拡充は難しい		難しい	● 今以上の効率化や改善は難しい	
◉ 他と同程度の事業である		● 民間委託等の拡充が十分に可能		十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能	
○ 遅れている事業である		○ 全部委託や実施主体の移行が可能		の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい	
■事業の見直し方策(評価項目2,4	 の補足説	リーニーニー 明含む)		┌■今後の方向性		
災害廃棄物の円滑な処理に向け実 連部署等と協議し策定する	効性のあ	る計画となるよう、関				
				○ Ⅰ. 拡充	○Ⅳ.廃止・休止	

■今後の方向性	1	_
<ul><li>Ⅰ. 拡充</li><li>● Ⅱ. 継続</li><li>Ⅲ. 縮小</li></ul>	<ul><li>Ⅳ. 廃止·休止</li><li>〇 V. 完了</li></ul>	